



2019年 人権一口講座



スタート

4月といえば、新入学や就職・異動などスタートの時期です。ちょっと大きめの真新しい制服を着た中高生が目を輝かせて登校している姿を見かけると、こちらが気が引き締まる思いがします。

この季節は、新しい人と巡り合う、出会いの時期でもあります。私は人見知りで、お互い何気なく交わす言葉や態度にもすぐドキドキしたことを覚えていきます。相手に対してつっけんどんな印象を与えてはいなかったかなと心配になり、後になって少ししょぼりした気持ちになることもよくありました。また、自分から新しい友だちに声をかけることをためらうことが多く、今となっては交友関係を広げるチャンスを見逃していたことをもったいなく感じます。

さて、新たな人と出会う時期なので、出会った人と親しくなる秘訣を三つだけお伝えします。

まず、話すときに楽しそうに話すことです。コミュニケーションで思いを伝えるためには、言葉・内容（7%）、話し方（38%）、態度・ボディランゲージ（55%）の三つの要素が影響し、一番重要なのが態度・ボディランゲージなのです。あなたと話すことは、私にとって楽しいと伝わるような話し方をするのが大切なのです。決して緊張してもじもじしては思いも伝わりません。

二つ目は、話す相手の声の大きさやスピードを合わせて話すということです。ミラー効果といわれており、ゆっくりとした話し方の人にはゆっくりと、大きい声の人には大きな声で話すことで相手は安心感を抱くことができます。

三つめは、自分と相手の違うところを楽しむことです。仲良くなるためについて自分と似たようなところを探して安心しますが、所詮は他人とは、これまで歩んできた人生も違い、育ってきた環境も違います。むしろ、自分と同じと思うほうが不自然なのです。自分と意見や考え方が合わないとききらめるのではなく、自分がない考えを与え、自分を成長させてくれる貴重な人だと思つてことです。このような見方をすることで、これまで自分とは合わない人と決めつけていた人への見方も変わるのではないのでしょうか。

私も気がつけば社会人となり数十年がたち、毎日同じ環境で過ごし、日々の忙しさに追われ、季節の変化を楽しむゆとりがなくなってきたようです。新採のときのフレッシュな気持ちで新年度を迎えたいと思えます。これまで挨拶をしたことがなかった人にこちらから積極的に挨拶をし、コミュニケーションをとっていただければと思っています。

（熊本市ふれあい文化センター広報紙「かけはし」平成三十一年度 四月号より）



短いメッセージ 「僕がやる。」 恥ずかしいけど つぶやいた
君も恥ずかしそうに 「ありがとう。」

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会のカレンダー 本荘小学校6年 二串 倫太郎さん（平成30年度の作品より）